

中学生や住民に 学校の特徴PR

倉吉5高校の生徒

倉吉ハイスクールフ

オーラム2017(倉吉市教委主催)が23日、倉吉市上灘町の上灘公民館で開かれた。市内の五つの高校の生徒が学校行事や特色などを地域住民や中学生にPRした。

学んだことを発表すること、で高校生と地域をつなげ、聴講した中学2年生の進路に生かしてもらおう狙い。初めて開かれ、約150人が参加した。

このうち倉吉北高

は、調理科の取り組みと展望を紹介した。生徒は「県内で2校しかない調理を専門的に学べる学校。卒業と同時に調理師免許を取得することを目標に頑張っている」と前置き。「1年生では基礎を、2年生になると自分で献立を作り実際に調理する。3年生は総合的に料理をマスターし、お弁当やコース料理の提供もする」と説明した。

参加した鴨川中2年の小椋南沙さん(13)と福井優さん(13)は「いろいろな高校の取り組みが聞けてよかった。進路決定に役立てたい」と話した。

プレゼンテーション



調理科の取り組みについて紹介する倉吉北高の生徒
=23日、倉吉市上灘町の上灘公民館

「本社HPに動画」

(加嶋祥代)